

回収率を飛躍的に向上させる穴馬を
簡単に見つけ、馬券に活かす7つの方法

■穴馬パターンその1「休み明け」

いまだにネガティブイメージを持たれてしまうことの多い休み明けですが、僕個人としてはこれほど使い勝手が良く、また高回収率の助けとなるものはないと感じています。

まず、休み明けの定義から説明したいと思います。

競馬新聞などを見ると「放牧3ヶ月」などと表記されることが多く、その部分の馬柱はくり抜かれていることが多いです。それによってひと目で休み明けだとわかるので、予想する側にしては有り難いところです。

ただ、ここで強調したいのは「放牧3ヶ月」のようなわかりやすい休み明けではなく、前走から中7～9週程度の「見えない休み明け」です。

この手の馬はパッと見ただけでは休み明けかどうかの判別がつきにくく「順調に使えてもいない・ちゃんと休めてもいない」という中途半端な扱いを受けることが多々あります。

・・・が、これにはあるカラクリがあって。

たとえば「短期放牧」。

通常の放牧であれば生まれ育った場所（主に北海道）に返して馬の気持ちをリフレッシュさせますが、短期放牧では厩舎近辺の牧場（千葉・滋賀）に2～3週間程度の放牧に出します。近年の牧場施設はトレセン並を誇り、完全に馬をリセットするわけではないというのがここでのポイントです。

もうひとつが、厩舎に留めておいてその馬の欠点を矯正する場合。

この間に坂路での時計が一気に縮まった、ブリンカーをつけてきた、調教方法を変えてきたといった変化があれば、中7～9週程度の期間はその馬にとっての訓練期間。穴馬としての妙味はがぜん増してきます。

そして、最後に挙げたいのが中2週のレース凡走後の中7～9週。

これは休み明けというよりローテーションの妙と言えるものですが、さきほどの逆を考えれば良いと。中7～9週が訓練期間だとすれば、中2週というのはレース間隔が詰まっているゆえに調整期間という意味合いが強い。

「中2週なので、中間は軽く流した程度」

「間隔が詰まっているので、単走で馬をエキサイトさせないように追い切った」

といったコメントが出たら要注意。不可解な負け方をすること人気馬には「2走ボケ」というものがありますが、そのパターンにハマった可能性が高いのです。

ただ、注目すべきはその馬が人気馬だった、ということ。

人気馬＝実力馬というのは当然のことで、その馬の敗因が「2走ボケ」だとすれば中2週のレース凡走後の中7～9週というのは絶好の穴パターン。この手のタイプが断然の1番人気に推されることはほぼないので、順当にいけばまず巻き返してくるタイプです。

【まとめ】

・休み明けで狙える穴馬は中7～9週程度の「プチ休み明け」。この間に短期放牧・ハードな調教・馬具の変更などがあれば絶好の狙い目となる

3. 実践編

ここからは、実践編と題してオイシイ穴馬を見つける方法から馬券術・軸馬選定法について書いていきます。ひとつのレースを例に、どのように読み解いていくか、プロセスを含めて書きました。実際の馬券に関連することなので、ここは特にじっくりとご覧ください。なお、実際に穴馬レーダー！競馬天気の前予想が的中したレースを参照としています。

【2012年11月3日 5回東京2日目2R】

1枠1番ドラゴントーク（5番人気）

2枠2番マイネライムライト（3番人気）

3枠3番オクタヴィア（7番人気）

4枠4番カシマシャドウ（12番人気）

5枠5番アルマドラーゴ（11番人気）

5枠6番クラウンブルトゥ（4番人気）

6枠7番アラビアドラゴン（6番人気）

6枠8番オーペドアンジョ（8番人気）

7枠9番リヴァロ（9番人気）

7枠10番サクラディソール（2番人気）

8枠11番ボンジュールココロ（1番人気）

8枠12番マイネルルークス（10番人気）

このレースのポイントは以下の通り。

- ・ 1番人気ボンジュールココロは内→外枠替り
- ・ 2番人気サクラディソールは休み明け・距離短縮

・ 10 番人気マイネルルークスは洋芝→野芝替り

人気馬が外枠に入ったレースは、基本的に「荒れる」という視点から予想をはじめます。枠順の有利不利があることは当然ですし、近走好走馬の好走理由が枠の利によるものであれば、その利を失うことは人気を裏切ることを意味します。

ここでは、実際に僕が競馬天気予想上で打った印とともにご覧ください。

- ◎ 10 サクラディソール
- 11 ボンジュールココロ
- ▲ 5 アルマドラゴ
- △ 12 マイネルルークス
- △ 6 クラウンプルートウ
- × 2 マイネライムライト

休み明け・距離短縮で臨むサクラディソールはメンバー中唯一の休み明け。使い詰めにあるメンバー内においてローテーション面でのアドバンテージが見込めると踏みました。また、新馬戦が新潟外回りで内枠だった点も評価した理由のひとつです。

ただ、このレース最大の鍵はマイネルルークス&アルマドラゴに目が行くか否か。

前者は前走8着、後者は12着とまるで買える要素がないと思われそうですが、サクラディソールを本命にした理由と照らし合わせれば納得がいきます。同馬を本命にした理由は、先ほど述べたように休み明け・距離短縮。それに該当する馬は同馬以外に3頭しかおらず、そのうちの2頭がマイネルルークス&アルマドラゴでした。

そして、レース結果はというと・・・

- 1着 サクラディソール (◎)
- 2着 マイネルルークス (△)
- 3着 アルマドラゴ (▲)
- 4着 マイネライムライト (×)
- 5着 リヴァロ

3連単 175 万という穴馬レーダー！競馬天気史上最高の的中配当。ひとつのレースにこれ

だけ多くの穴馬要素が詰まっているレースは珍しく、荒れるべくして荒れたレースと言えるでしょう。

★続きは本編で！半永久的に使える穴馬発掘の7つの方法を今すぐ手に入れてください！

↓↓↓

<https://keibatennki.jp/pc/regist.php#purchase>

(穴馬レーダー！競馬天気ログイン中の会員の方は一度ログアウトしてからアクセスしてください)

いかがでしたか？

本編「荒れるレースがひと目でわかる！危険な1番人気馬を見極める7つの方法」では、上記に加えて実際の馬券を購入するにあたっての組み立て方も含めてお伝えします。

ちなみに、現在予定している目次は以下の通りです。

1. 基本編

└競馬は1番人気馬の連対率が50%以上

2. 活用編

└なぜ1番人気馬が人気を裏切ってしまうのか？

└「展開がハマった」はどこまで信用すべきか？

3. 実践編

└危険な人気馬パターンその1「同条件を3戦連続好走、4戦目も同条件の馬」

└危険な人気馬パターンその2「休み明け好走→中2週で参戦する馬」

└危険な人気馬パターンその3「そのコースを使われるのが初めての馬」

└危険な人気馬パターンその4「上がり3ハロン上位の脚を使えない馬」

└危険な人気馬パターンその5「両隣に同脚質の人気馬がいる馬」

└危険な人気馬パターンその6「同コースの実績だけで人気になっている馬」

└危険な人気馬パターンその7「使う予定のなかった馬」

などなど・・・

危険な人気馬を知ることは、高配当への近道。

毎年使える価値あるモノをこの機会にぜひご活用ください。

↓↓「危険な1番人気馬を見極める7つの方法」ご購入はこちらから↓↓

(ログイン中の会員の方は一度ログアウトしてからアクセスしてください)

<https://keibatennki.jp/pc/regist.php#purchase>